



2024年8月27日

各 位

SEホールディングス・アンド・  
インキュベーションズ株式会社  
代表取締役社長 速 水 浩 二  
(スタンダード・コード9478)  
問 い 合 わ せ 先  
執行役員経営企画部部长 松 村 真 一  
T E L 0 3 - 5 3 6 2 - 3 7 0 0

## 【SE デザイン】「金融業界のマーケティング調査報告書」を公表

当社の連結子会社でコンテンツマーケティング支援事業を展開する株式会社 SE デザイン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：篠崎 晃一）は、本日、金融業界のマーケティングにおける生成 AI の活用状況や、施策の実施状況に関するアンケート調査レポート「金融業界のマーケティング調査報告書（<https://www.sedesign.co.jp/download/ms/financial-marketing-survey>）」を公表しました。

詳細につきましては、添付しました同社プレスリリースをご参照ください。

### ◆本件に対するお問い合わせ

株式会社 SE デザイン

担当：大嶺

TEL 03-5362-3710

メールアドレス：marketing@sedesign.co.jp

### ◆IR に関するお問い合わせ

SE ホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社

経営企画部経営企画課

TEL 03-5362-3700

お問い合わせ - SE Holdings and Incubations Group (sehi.co.jp)

以 上

## 生成 AI の活用用途は「データ分析」と 8 割が回答 | 金融業界のマーケティング実施状況調査結果

コンテンツマーケティング支援事業を展開する株式会社 SE デザイン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：篠崎 晃一）は、2024/8/27 に、金融業界のマーケティングにおける生成 AI の活用状況や、施策の実施状況に関するアンケート調査レポート「金融業界のマーケティング調査報告書（<https://www.sedesign.co.jp/download/ms/financial-marketing-survey>）」を公表しました。

本調査は、生成 AI の台頭と新型コロナウイルスの収束が、金融業界のマーケティング活動に与えた影響を探ることを目的として実施した調査です。

生成 AI の活用目的や、新型コロナウイルス収束前後の実施施策などについてアンケート調査を実施しました。主な調査結果は次の通りです。

生成AI活用・コロナ禍後における施策の実施状況がわかる！

# 金融業界のマーケティング 調査報告書



SEDesign

## 調査結果トピックス

- ①生成 AI の活用用途について、8 割が「データ分析」と回答。
- ②コロナ禍後、オンラインでのマーケティング施策が増加傾向に。
- ③41.3%が 2024 年度は「オンライン広告（運用型・純広告等）」に注力すると回答。

## 調査概要

調査テーマ：金融業界のマーケティング施策の実施状況に関する調査

調査目的：金融業界における、マーケティング業務での AI 活用状況や成果、新型コロナウイルス収束前後でのマーケティング施策の実施状況の変化や成果の実態を把握する。

調査期間：2024 年 6 月 28 日～2024 年 7 月 2 日

調査手法：オンラインリサーチ

本調査対象サンプル数：46ss

調査機関：GMO リサーチ&AI 株式会社 (<https://gmo-research.ai>)

調査対象：以下条件にて対象者を抽出

- ・性別：男女
- ・年齢：20～69 歳
- ・居住地：全国
- ・職業：会社員もしくは経営者・役員
- ・業種：金融
- ・その他：マーケティング業務を担当している

## 生成 AI の活用用途について、8 割が「データ分析」と回答

「Q1.生成 AI をマーケティング業務に活用していますか。当てはまるものをお知らせください。（単一回答）」（n=46）と質問したところ、「活用している」と回答した割合は 28.3%でしたが、活用意向がある層まで広げると全体の 6 割以上が生成 AI の活用意欲を示していました。

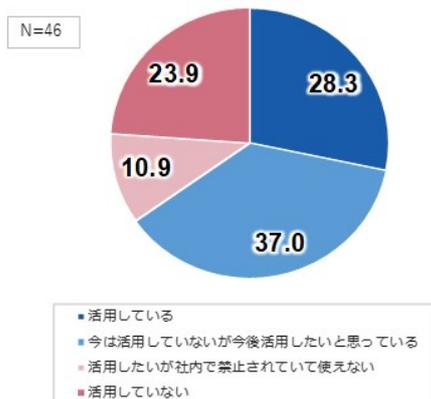
また、「Q2.生成 AI をマーケティングのどの業務に活用している、もしくは活用したいと思っていますか。あてはまるものを全てお知らせください。（複数回答）」（n=35）と質問したところ、「データ分析」という回答が最も多く、80.0%でした。

次いで「戦略立案・企画作成・アイデア出し」が 60.0%という結果でした。

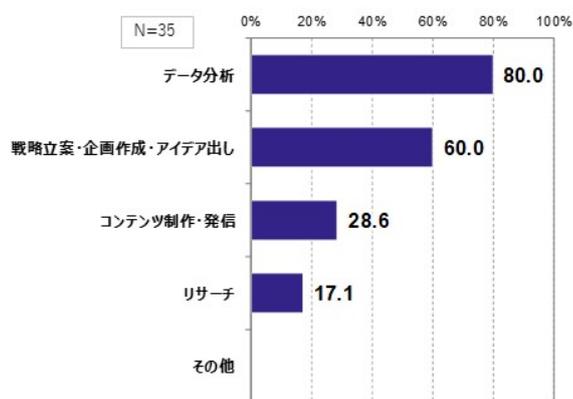
### マーケティング業務での生成AI活用について

- ✓ マーケティング担当者のうち、生成AIを「活用している」と回答した割合は28.3%である。
- ✓ さらに生成AIの活用意向がある層まで広げると全体の6割超となっている。
- ✓ 生成AIをマーケティング業務に実際に活用している、もしくは活用したいと思う用途として最も高いのは「データ分析」の80.0%である。次点で「戦略立案・企画作成・アイデア出し」の60.0%が続いている。

Q1.生成AIのマーケティング活用率 [SA]



Q2.生成AIのマーケティング活用用途 [MA]



## コロナ禍後、オンラインでのマーケティング施策が増加傾向に

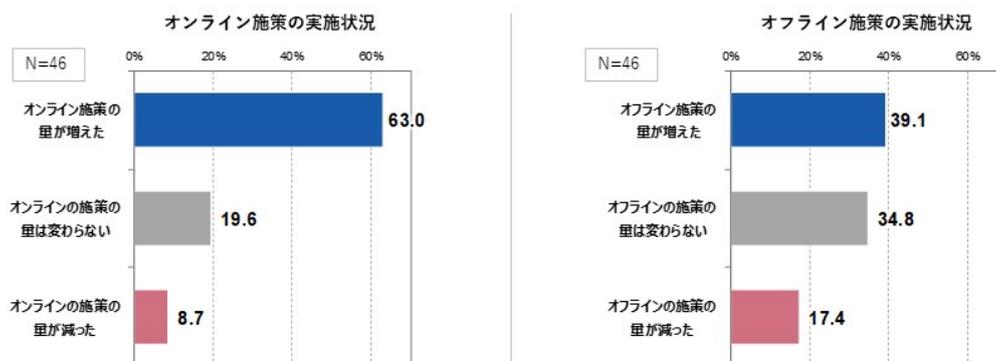
「Q6. (新型コロナウイルス収束後) 2023年度以降のマーケティング施策の実施状況について、オンライン施策とオフライン施策の観点から教えてください。(単一回答)」(n=46)と質問したところ、オンラインは63.0%、オフラインは39.1%が「施策の量が増えた」と回答しました。

また、「施策の量が増えた」と回答した割合はオンラインの方が高く、「オフライン施策が増えた」を20ポイント以上上回る結果でした。

### 新型コロナウイルス収束後のマーケティング施策の実施状況

- ✓ 2023年度以降(新型コロナウイルス収束後)にマーケティング施策の実施状況が変化したか、オンライン施策・オフライン施策のそれぞれについて聴取した。
- ✓ オンライン施策・オフライン施策ともに「**施策の量が増えた**」、「**施策の量が変わらない**」、「**施策の量が減った**」の順に高いことが共通している。
- ✓ 一方で、オフライン施策の「施策の量が増えた」と「施策の量は変わらない」は僅差であるが、**オンライン施策の「施策の量が増えた」の割合は約6割**で、オンライン施策に比べて20ポイント超上回っている。

Q6. (新型コロナウイルス収束後) 2023年度以降のマーケティング施策の実施状況 [SA]



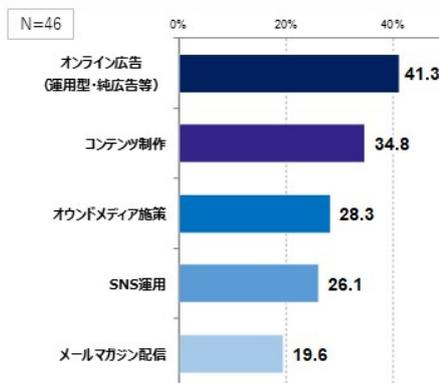
※ Q6. (新型コロナウイルス収束後) 2023年度以降のマーケティング施策の実施状況[SA]の回答結果のうち、オンライン施策・オフライン施策の双方において施策の量が「増えた」「変わらない」「減った」に該当する回答をそれぞれ小計し算出

41.3%が2024年度は「オンライン広告（運用型・純広告等）」に注力すると回答  
「Q10.今年度実施予定、もしくは実施中の施策の中で、注力している、する予定の施策を3つまで選んでお知らせください。（複数回答）」（n=46）と質問したところ、「オンライン広告」という回答が最も多く、41.3%でした。  
次いで「コンテンツ制作（ホワイトペーパー・導入事例等）」が34.8%、「オウンドメディア施策」が28.3%という結果でした。

## 今年度の注力施策・SEデザインの認知度

- ✓今年度の注力施策として、最も高い項目は「**オンライン広告（運用型・純広告等）**」の**41.3%**である。以降は「**コンテンツ制作**」34.8%、「**オウンドメディア施策**」28.3%と続く。

Q10.今年度の注力施策（上位5項目のみ抜粋） [MA]



※ 項目の並び順は降順にソート

※ アンケート画面では「コンテンツ制作」は「コンテンツ制作（メディア企画・記事制作・SEO対策・動画・音声コンテンツ等）」、「オウンドメディア施策」は「オウンドメディア施策（運用型・純広告等）」として提示・聴取

SEDesign

©SE Design Co.,Ltd.

(単位：%)

詳細な調査レポートはこちら (<https://www.sedesign.co.jp/download/ms/financial-marketing-survey>) からご確認いただけます。

SE デザインでは BtoB 企業様をはじめとしたコンテンツマーケティングの支援を行っております。

SE デザインは、パソコンの普及が拡大し始めた 1980 年代当時から、数多くのテクノロジー企業様におけるマーケティング活動を支援して参りました。また、当社の前身である翔泳社は IT およびマーケティング関連書籍、メディアを手がける出版社であり、“出版業で培ったコンテンツ開発力・編集力”は我々の強みの 1 つでもあります。

これらの経験や強みをもとに、BtoB 企業のコンテンツマーケティング課題に応える知識、スキル、ネットワークを活かして、オンライン・オフラインを問わず幅広い施策をご提案し、お客様のコンテンツマーケティング活動全般をご支援してまいります。

<https://www.sedesign.co.jp/>

## 会社概要

会社名：株式会社 SE デザイン

所在地：〒160-0006 東京都新宿区舟町 5 SE 舟町ビル

代表：篠崎 晃一

創業：昭和 60 年 12 月

設立：平成 18 年 10 月

会社 URL：https://www.sedesign.co.jp/

## 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 SE デザイン

担当：大嶺

TEL：03-5362-3710

FAX：03-5362-3711

E-Mail：marketing@sedesign.co.jp